



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
<http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html>

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和2年10月30日 No. 14

霜月

早いもので、後期が始まってもう1ヶ月がたちました。朝晩は暖房が必要な季節になってきましたね。学校でも気温によっては暖房の使用も考えていきますが、子どもたち一人一人の服装も秋冬仕様にチェンジをお願いします。

話はガラッと変わりますが、植松 努さんという方をご存じでしょうか？私の掲げた学校教育目標は題名の所にありますように『自ら考え 判断し 明日を創る子ども育成』です。目標設定の際に少なからず影響を受けた方が植松さんです。植松努（うえまつつとむ）さんは、株式会社植松電機の代表取締役。従業員が20人不足という小さな町工場でありながらロケット事業に取り組んでいて、その様子は、阿部寛主演でドラマ化もされた池井戸潤の小説「下町ロケット」のモデルにもなっています。この方の「TEDxSapporo」（詳しくはわかりません）でのスピーチの動画を見て、大いに共感できるところがありました。そのスピーチ原稿がネット上に出ておりましたので、著作権のこととか気になりましたが、本校の先生方に紹介し、研修の資料としました。

（囲みでネットの記事を引用させていただきます。）

植松努は小説「下町ロケット」のモデルになった戦う下町のロケット開発者

資産家の家で育ったわけでもなく、幼い頃から成績が良かったわけでもない植松努がロケット事業を始めたきっかけは、「どうせ無理」という大人たちが発する言葉の悪循環を断ち切りたいと思ったからでした。植松努自身、将来の夢や希望を「どうせ無理」という言葉で否定されてきたと言います。

大人は「子供たちに夢を与えなければならない」と言いながら、一方で「どうせ無理」という言葉で夢を打ち砕いているというのが現実です。その悪循環をなくすためには、無理と思われることにチャレンジして成功すればいいと思ったとか。植松努にとっては、それが「ロケット」でした。

植松努は、2014年7月、スピーカーとして「TEDxSapporo」に参加し、「どうせ無理」と言われ続けてきたこれまでの人生を語りました。スピーチの中で、植松努は、数々の名言を残しています。「生まれたときからあきらめ方を知っている人はいない」と切り出した植松努は、「あきらめ方を学ぶと、自分の能力以下のことしかできなくなる」と語りました。

続けた名言が「『あきらめる』は、後天的な教育によって与えられる能力です」。そして、母から教えられた言葉「思いは招く」という名言を紹介。これは、思ったらそうなるよという意味で、ずっと思い続けることが大切だというメッセージです。

さらに、「どうせ無理」と思ってきた人たちが自信を取り戻すことができる方法は、「やったことがないことをやってみるしかない」ことだと断言。みんなで夢を語り合い、「だったらこうしてみたら」とお互いに言い合うことで夢は叶うのだとスピーチを締めくくりました。

最高学年としての自分を振り返って

6年 遠藤 ○○

6年生の学級目標は「最高学年としての自覚・考えをつなぐ・心をつなぐ・最後までつなぐ」です。最高学年として、自分が意識して取り組んだことはみんなをまとめることです。

ぼくは、最初人に何かを教えたり、気にかけてりすることが苦手でした。けれど、花壇活動などのみんなをまとめる行事をやっていくうちに少しずつ周りのことが見えるようになってきました。

後期の目標は、今以上にリーダーシップを発揮することです。もうすぐ運動会があります。(この原稿は後期の始業式のものです)このような大きな行事を通して全員が一致団結するよう自分が行動で示したり、声かけをしたいと思います。

いま言ったようなことをがんばり、有終の美を飾れるよう充実した後期にしたいです。



※運動会では、開会式の進行をして
くれました。最高学年頑張ってます！

頑張りの足跡

第66回全国青少年読書感想文コンクール

本荘由利支部審査

推薦	2年	小助川	(入選)
特薦	1年	佐藤	3年 齋藤
	2年	三森	3年 佐藤
	3年	佐々木	4年 小野
	5年	佐々木	5年 菊地
	5年	佐藤	6年 加藤
	6年	伊藤	6年 佐々木

ハリキリカップ 優勝 大内男子ミニバสบスポ少

第42回 本荘由利卓球選手権大会

6年女子第3位 6年 東海林

令和2年度 ジオパーク児童絵画コンテスト

入選 3年 齋藤

11月行事予定

日	曜	校内行事
1	日	あきた教育の日
2	月	街頭指導
3	火	文化の日
4	水	パワ学②
5	木	球根植え 1.2年 焼きいも会
6	金	4年障害理解教室
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	全校漢字テ
11	水	壮行会(ミニバス)
12	木	6年合同授業
13	金	教科等訪問(3年算数5年家庭科)
14	土	
15	日	
16	月	職員会議⑩
17	火	
18	水	パワ学③
19	木	3年校外学習
20	金	1・2年校外学習
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	避難訓練 パワ学④
26	木	全校計算テ⑥ 3年豆腐づくり
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

由利本荘市民まつり「書道展」

金賞	3年 伊藤
	3年 伊藤
	3年 齋藤
	3年 畠山
	5年 佐藤
	5年 伊藤
	6年 加藤

※書道展は「金賞」受賞者のみ掲載